

袋

田(久慈郡大子町)を流れる久慈川に、鱒ヶ淵たけふちとよばれる所があります。むかし、このあたりに年老いた父親と暮らしている親孝行な息子がおりました。そして息子は、父親のために、鱒ヶ淵で鯉をとっては食べさせておりました。

した。ある日、息子がいつものように鯉をとつて

水神様の

くれた小槌つち

いると、水の中から白髭の老人があらわれ、

息子に声をかけました。

「お前は本当に親孝行な息子じゃ。お前にこの小槌をあげよう。

何か困った時には振ってみな

さい。」



というと、老人はまた水の中

に消えてしまったのです。

(あれは水神様だったのだろ

萬

うか...)と息子は思い、大事にその小槌をしまっておきました。

やがて父親は亡くなり、息子はお金が無くて葬式も出せませんでした。思いあまつて、その小槌を振ると、葬式のお膳・ごちそうからお金まで出てきて無事、父の葬式を出すことができたのだそうです。その後、この若者は金砂郷村へ行き、長者になったという話です。